

学校番号	24	学校名	静岡県立吉原工業高等学校	校長名	深澤 富士夫
------	----	-----	--------------	-----	--------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

われらの信条「努力—求めて学び、耐えて鍛えよ—」のもと、「ものづくり教育をとおした人づくり教育」を掲げ、次の3項目を柱とした、信頼される実践的なスペシャリストを育成する。

- ①「確かな知識と技術・技能」を身に付け、地域産業の発展に寄与できる人材の育成
- ②「夢・こころざし」の実現に向け、常に挑戦し続ける人材の育成
- ③「社会貢献」の意識を持ち、人を応援し、人から応援してもらえる人材の育成

(2) 目標具現化の柱

- ア 規範意識と社会性を身に付けた創造力豊かな人材を育成する。(③)
- イ 技術革新を見据え、長期的な展望に基づく、工業教育の学習内容の改善を図る。(①)
- ウ 3年間を通じた計画的な進路指導を構築する。(②)
- エ 安全教育及び交流(共生)教育を推進する。(③)
- オ 生徒の心身の健康維持を支援し、教育相談等の体制を整える。(②、③)
- カ 特別活動及び部活動等への主体的な活動を推進する。(②、③)
- キ 地域の実態・ニーズに対応した特色ある学校づくりを推進する。(①)
- ク 教育環境の整備・充実及び予算の適正かつ効率的な執行を目指す。(①)

2 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア	基本的生活態度の確立	時間厳守、挨拶の励行及び正しい頭髪・服装の指導を徹底し、生活習慣を身に付けさせる。 生徒手帳への記入を習慣付け、自己管理を意識させる。	毎日の登校指導の実施。 「校則や社会のルールを守っている」と答える生徒90%以上 遅刻を各学年1日あたり1人未満に抑える。	生徒指導  教務
	読書環境の充実	本に親しむ習慣を身に付けさせるとともに図書館活用の促進を図る。また、読書感想文のあり方について検討する。	図書館便りの定期的な発行と貸出数の昨年度比増加を図る。 「朝読書の時間は有意義である」と答える生徒90%以上 「図書館やPTAコーナーにある本を読んだことがある」と答える生徒70%以上 読書感想文に替わる課題を試行する。	図書
イ	学習指導の充実	公開授業の内容を検討する。また、他教科との授業交流を行い、授業改善(教材研究)に積極的に取り組み、分かる授業を行う。	校内公開授業週間における教員相互の授業参観率90%以上と自主的な研究授業実施者10人以上 「興味を持てる授業がある」と答える生徒90%以上	研修
		くくり募集による教育課程の構築と観点別評価の検討を行う。	学科選択を含めた1年次の教育課程等の検証及び2年次以降の教育課程の確認	教務

様式第1号

ウ	能力・適性・希望に応じたきめ細やかな進路指導の推進	「生徒手帳（進路の手引）」の活用方法を構築する。進学対策の改善を図り、進路実現をサポートする。	「進路について親と話をすると答える生徒 75%以上 「生徒手帳（進路の手引）」を活用すると答える生徒 80%以上	進路指導
		インターンシップ、ワークラリー等、地元企業との連携を密にし、キャリア教育の充実を図る。	「インターンシップ等をおして、進路意識が向上した」と答える生徒 80%以上	各学年
エ	安全指導の推進と危機管理能力の向上	自転車通学者に対するマナー及び危険予知の向上を図る。	「登下校時、交通法規を遵守している」と答える生徒 95%以上	生徒指導
		実習・実験等による安全教育を徹底する。	工場及び実習室の整理整頓を行うとともに、事故0を目指す。	工業科
		自治体等、地域との連携を深め、地域安全に貢献する。	総合・地域防災訓練への参加率 90%以上 「地震等大規模災害発生時の連絡方法や行動について親と話し合っている」と答える生徒 70%以上	総務
	「役立ち感育成プロジェクト」の推進	地域との交流を積極的に行うことにより、コミュニケーション能力と自己有用感を育てる。	「この1年間で、他団体との交流やボランティア活動に参加したことがある」と答える生徒 60%以上	交流委員会
オ	健康指導の推進	他団体との連携を推進するとともに、健康に関する知識・能力を高め、自己健康管理を意識させる新体力テストで男女ともに優秀校を目指す。	朝食摂取率 95%以上 朝食欠食者へのセミナーの充実を図る。  「1年間で体力が向上した」と答える生徒 80%以上	保健 保健体育
	教育相談システムの充実	生徒理解・生徒支援に関する情報を的確に把握し、その体制を整える。	ケース会議の開催、教育相談関係の知識向上を図る。 「教育相談室では、どのような支援を行っているか知っている」と答える生徒・保護者 80%以上	教育相談
カ	ホームルーム活動及び生徒会活動の自主的な運営	行事等を成功させ、達成感を持たせる。 各専門委員会の活動を活性化させ、協調性を育てる。	「吉峰祭では積極的に参加し、係の仕事を行った」と答える生徒 90%以上	生徒指導
	部活動の活性化	部活動の統廃合を進め、参加しやすい環境を整える。	「部活動に無断で休まず取り組んでいる」と答える生徒 80%以上 県大会出場の部が 10 以上	生徒指導

様式第1号

キ	地域から期待・信頼される、工業高校であることを広報する活動の充実	ホームページの再構築を推進し、学校行事等の紹介に活用する。	校内の情報収集の改善と週1回の更新を継続する。工業科及び部活動のホームページ更新を積極的に行う。	情報
		工業高校で学んだ専門知識や技術・技能を生かした活動を紹介する。また、創立80周年記念事業への取組を充実させる。各科で資格検定取得率を設定し取り組む。	技能競技大会等へ積極的に参加し、上位入賞を目指す。出前授業、ものづくり講座、イベント等の充実を図る。  「資格取得に向け、積極的に取り組んでいる」と答える生徒70%以上	工業科
ク	教育環境の整備の推進と効率的な学校経営予算の執行	校内の不良個所を早期発見し、安心安全な学校生活を送れるようにする。  生徒・保護者、来校者に親切、丁寧、迅速な対応をする。  学校経営予算を効率的に執行する。会計事務を適切に処理する。	校内施設設備の点検を毎月実施する。  「事務室は、親切な対応をしてくれる」と答える保護者・生徒90%以上 事務室へのクレーム0件  学校経営予算の執行率を99%以上にする。検査等における文書指示を0件にする。	事務